

就任式で決意を表明

多次市長は、初登庁後に和田山農業研修センター13階で行われた市長就任式で、「対話を基調とした心優しいぬくもりのある市政の実現を目指し、全力で取り組みたい」とあいさつ。朝来市の新たなスタートに強い決意を示しました。また、職員には「厳しい経済状況を認識し、今まで以上に知恵や力を出して必死に市民生活を守ることを第一に考えてほしい。市民の皆さんと積極的に対話し、力も借りながら、何事にも果敢に挑戦してほしい」と呼びかけました。

続いて開かれた記者会見では、本格予算を6月定例市議会に提案し、病院など医療の充実を目指す専門部署の設置などの機構改革にも取り組む方針を示しました。



就任式で職員に訓示を述べる多次市長

市長退任のごあいさつ



井上 英俊

私は、市長1期4年と朝来町長3期の合計4期16年の長きにわたり、市民の皆様のご支援とご協力により楽しく充実した毎日をご過ごさせていただきましたことに心から感謝を申し上げます。

特に合併後の4年間は、市民一体化を進めることが最優先課題でございました。このことに集中してすべての施策を展開してまいりました。市民総参加の中で新市まちづくり総合計画を策定し、市民相和して元氣あふれる兵庫中央拠点都市・朝来市づくりがスタートいたしました。

自治基本条例を制定して市内12小学校区単位にそれぞれ特徴ある地域自治協議会を設置し、市民主導による地域自治が動き始めました。激動期の今日、このようにしっかりとした地域づくりの仕組みができたことはすばらしいことであり、兵庫県下、また全国的にも誇れる成果と確信しております。

朝来市は、全国都市住みよさランキングにおいて、合併以降兵庫県下で毎年上位を維持しております。これには先人のご努力に負うところが大きいです。さらにこれらの基盤の上に3万5千人市民が協働することにより、より豊かで住みよい朝来市づくりが進展することを心から念じております。

最後になりましたが、朝来市の今後ますますの発展と市民の皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。退任のごあいさつといたします。

副市長退任のごあいさつ



田中 敏昭

私は、昭和41年4月に和田山町役場に奉職して以来、郡広域行政事務組合への出向期間を含め、通算43年1か月の間、地方行政に携わってまいりました。

特に、合併後の4年間は、副市長という重職を拝命しながらも、市民の皆様方のご支援、励ましにより何とか職責を全うすることができたことに改めて深く感謝を申し上げます。

振り返りますと、和田山町役場では、白井の大町大池の建設や高齢化社会に対応した24時間365日対応のホームヘルプサービス事業に取り組みました。郡広域行政事務組合では、農業共済の4町一本化や斎場建設、ダイオキシン対策のためのごみ処理施設の高度排ガス処理施設の整備のほか、現在建設に向けてほぼ合意がいただけた段階にある南但ごみ処理施設の取り掛かりにも携わりました。しかし、この43年1か月の中で一番大きな思い出は朝来郡内4町の合併、朝来市の誕生に関われたこととであります。

今、朝来市を含め、地方自治体を取り巻く情勢は非常に厳しいものがあります。今後とも市民の皆様方と行政が協力し、県下トップのまちづくりを目指し、朝来市のますますの発展を祈念し、退任のごあいさつといたします。

教育長退任のごあいさつ



桐山 徹郎

私ことこのたび去る5月23日をもって教育長を退任させていただきました。

平成17年5月に新市朝来市の教育長に就任させていただいて以来、今日まで学校教育においては市の一体感の醸成を図りながら地域の特色を生かしたオンリーワンの学校づくり、社会教育においては、歴史文化遺産の保存・活用、生涯スポーツ・生涯学習の推進、就学前教育においては認定こども園制度を基本とした幼保一元化の推進などに取り組みさせていただきました。

また、厳しい財政状況の中でしたが学校施設の耐震化、大規模改修工事にも取り組まさせていただきました。未だ道半ばではありませんが、総合計画の基本目標である「心豊かな教育・郷育・共育のまちづくり」に沿った方向だけは示せたのではないかと思っております。

今日まで4年間無事に務めることができましたのは、私を支え、事業の推進に懸命に取り組んでくれた職員はもとより、市民の皆様のご理解とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

終わりにりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございます。